

資料 11

国土交通省からの連絡事項

地域の水害リスクに関する情報

河川法第3条で規定する河川
(一級河川、二級河川)

洪水予報河川
水位周知河川

その他河川※1
(小規模河川)

浸水想定区域図
(水防法第14条※1)

※2

氾濫推定図

※1 水防法改正 (R3.5.10公布)

洪水による災害の発生を警戒すべきものとして省令で定める基準に該当する河川を新たに洪水浸水想定区域の指定対象に追加【拡大】
(住家等の防御対象のある全ての河川)

令和3年度末
に県へ提供

※2 実施に向け調整中

改正水防法施行に合わせ、氾濫推定図の位置づけを「浸水想定区域図」と同等に扱う方向で調整中【活用】

一級・二級河川：国で航空レーザー測量実施 (R2～R3年度)

一級河川：国で氾濫形態が流下型区間(その一部)の氾濫解析を試行 (R3年度)

浸水実績図、地形分類図
標高地形図

氾濫要因	氾濫解析の特徴				作成 労力
	氾濫形態	河道測量データ	横断測量データ	国土地理院5m DEM	
越水(溢水)	○	○	必要	—	大
破堤	○	○	必要	可能	大
マニュアル引き	○	○	必要	必要	小
浸水想定区域図作成 マニュアル	○	○	必要	可能	大
中小河川洪水浸水想定 区域図作成の手引き	○	○	必要	可能	大
小規模河川の氾濫推定 図作成の手引き	×	○	—	可能	小

○浸水想定区域を設定する河川の目標数

(現在) 約2,000河川 ⇒ (今後) 約17,000河川 (2025年度)

水害リスク情報の空白域解消について

～洪水浸水想定区域の指定対象河川の拡大～

○水防法改正 (R3.5.10公布) → 法施行後の作業内容

県管理河川【東北六県】

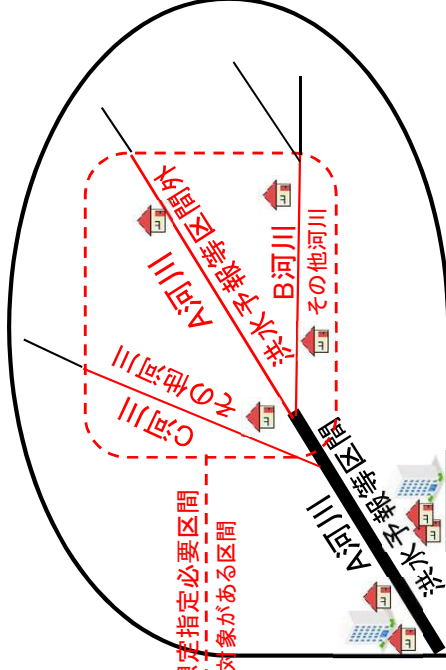
一級指定区間、二級河川：約2,200河川

洪水予報河川：18河川
水位周知河川：233河川
(R2.7末時点) 浸水想定指定済or作業中

その他河川：約1,600河川
(一級河川：約1,200河川)
(二級河川：約400河川)
(新規) 浸水想定指定必要河川 ※1

※2 一部重複

- ※1 住家等防衛対象があり、浸水想定等の整備が必要な河川 (R2県に聞き取り)
- ※2 洪水予報又は水位周知河川のうち、その区間外の部分も「その他河川」に計上



浸水想定区域指定区間イメージ

【東北六県】

○作業工程【東北六県】(案)

国	令和2年度	令和3年度												令和4年度 ～令和7年度	備考	
		～6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
地形測量 ○LP測量 (R2一部測量済)																1級：約 300河川 2級：約 200河川 (既存LP計-未整備区間)
対象河川区間の選定 ○想定最大規模流量算定 ○氾濫形態 (流下型・貯留型・拡散型) の検討																1級：約 900河川 (既存LP計-整備済区間)
氾濫解析 (流下型のみ) ○想定最大規模浸水位算定 ○浸水深分布図の試作																1級：約 300河川 (流下型氾濫区間)
氾濫解析 (リスク情報空白域)																1級：約 900河川 2級：約 400河川
浸水想定図作成																1級：約1,200河川 2級：約 400河川